



消防署からのお知らせ



Information from Fire Department

我が家からは火事を出さない！

特集！暖房器具に潜む危険！

冬は、電気やガス、石油などを使った暖房器具の使用頻度が増える季節です。冬季のみという季節限定で使用される器具であることから使用する際に、使用上の注意を怠ったり、使い方を間違えたりすることで火災に至る危険性が高くなると考えられます。取り扱う際は十分注意し、使用する前に次のポイントを守り、適切に使用してください。

ストーブに
燃えやすいものを近づけない！



暖房器具の使用にあたって注意するポイント

- 1 燃料の誤給油に注意する。
- 2 耐震自動消火装置が、正常に作動するか定期的を確認する。
- 3 暖房器具の上や近くで、洗濯物を乾燥するなど、燃えやすいものは近づけない。
- 4 寝る時や外出する時には、必ず火の元を確認する。
- 5 灯油を使用する暖房器具では、一酸化炭素中毒に気を付ける。

実は…石油ストーブよりも危険な電気ストーブ!!

近年、全国的に火災件数は減少傾向にあります。そんな中、異なる傾向を示しているのが、意外にも、電気製品やコードなどから出火する電気火災であり、全火災に対して、電気火災の占める割合は全国的に増加傾向にあります。この電気火災の中で火災件数、死者数共に最も多く発生しているのが**電気ストーブ**です。

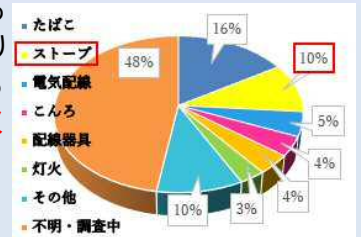
ストーブのうち、最も火災の危険が高いと思うものについて質問したアンケート調査の結果、8割以上の方が石油ストーブと回答しました。しかし、実際には**電気ストーブ**の火災が最も多く発生しています。電気

ストーブなら熱くなる程度で火災にならないだろう…と思いませんか？その油断こそが火災の原因となっているのです！



住宅火災出火原因別死者数

住宅火災において誤った使い方や不注意により多くの死者を出している原因の一つが**ストーブ火災**です。特に就寝時の火災が多く、寝る前の確認が大切です。



電気ストーブは「火を使わない」ことで、火災になりにくいと思われるようですが、実際は就寝中に布団が触れて火災となるケースや、洗濯物を近づけて火災となるケースが多くなっています。

電気ストーブ・石油ストーブを安全に使用し、安心して過ごしていただくため、取り扱いに十分注意してください！

お問い合わせ先はこちら
南越消防組合消防本部
予防課 21-8865



組合ホームページ